

2026年 2月号

ぴらたんニュース



～懸想文売り(けそうぶみうり)～

2月になると、京都府内の社寺では節分の行事が行われます。

左京区にある須賀神社では、節分祭に合わせた恒例行事「懸想文売り」が境内に登場し、買い求める参拝者で賑わいます。懸想文とは、恋心を書き綴った恋文、いわばラブレターのことです。懸想文売りは、平安時代に貴族が顔を隠して懸想文の代筆をしたのが起源とされています。烏帽子と水干で公家の装束を身にまといながらも、顔を人に見せないよう覆面をした、どこか怪しげな姿が特徴です。江戸時代には、京の町で懸想文売りが元日の朝から十五日まで、恋文に似せた縁起を祝う文章を売り歩いていました。現在も同様に、縁起を祝う文言が書かれています。懸想文は、鏡台や箪笥に人に知られないように入れておくと、容姿端麗になり、良縁に恵まれ、衣装も増えるご利益があるとも言われています。節分の翌日が立春であることから、早春の象徴である梅の枝を携えるのが習わしで、今もその枝には文が結びつけられています。書かれている美しい文章は毎年変わるために、それを見るのも興味深いですね。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

【取扱商品】

社旗 横断幕 販促のぼり旗 のれん 応援団用品
祭り幟 天 神社寺院幕 神社のぼり旗 鈴緒
劇団幕 舞台幕 演台カバー マーチングバンド横幕



株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041 / FAX : 075-222-0843

MAIL : web@kyoto-hiraiwa.co.jp

今すぐ
アクセス！

京都 平岩